

最新3D技術と「大塚オーミ陶業」の伝統の技で蘇る
直接ふれる「弘法大師像」!

3Dカメラ撮影により、デジタルデータ化された「弘法大師像」
画像提供：九州国立博物館



九州国立博物館の3D技術と大塚オーミ陶業の伝統の技で陶製の「弘法大師像」が現代に蘇ります。実際に手で触れることのできる、文字通り「ふれる空海」が登場します。

© OTSUKA OHMI CERAMICS CO.,LTD.



陶製の「弘法大師像」展示

↑
手でふれることのできる「弘法大師像」
同時展示!

←
名宝「弘法大師像」(萬日大師)

密教美術と最新テクノロジーのコラボレーション

816年、弘法大師・空海が海拔800m余りの高野山の地に修行の場を開きました。色鮮やかな曼荼羅、私たちを包み込むような仏像、迫力満点の彫刻、「弘法筆を選ばず」と言われる名筆...。高野山の117のお寺には貴重な文化財が引き継がれ、世界文化遺産にも登録されています。その魅力をより知っていただきたく、本展覧会は、現代の最新テクノロジーを駆使し、いままでになかった演出をご用意いたしました。高野山の数々の名宝はもろろん、あの「弘法大師像」を最新3D技術を使い、陶にて再現。直接、手でふれていただくことができます。また、最新デジタル技術で復元した、当時のままの色鮮やかな「両界曼荼羅図」もご覧いただけます。



弘法大師像(萬日大師) 室町時代 金剛峯寺蔵

最新デジタル技術で復元!
当時のままの、色鮮やかな「両界曼荼羅図」!

当時の色に復元された「金剛薩埵(こんごうさつた)」



総本山金剛峯寺所蔵の重文、通称「血曼荼羅」の原寸大の複製と、凸版印刷の最新デジタル技術による色分析を行い、作成当時の色を想定再現した極彩色の血曼荼羅が現代に蘇りました。最新のシャープ製4Kモニターでご覧ください。



両界曼荼羅図(血曼荼羅)複製 平安時代 金剛峯寺蔵



金銅千手観音像 鎌倉時代 金剛峯寺蔵



弘法大師像 江戸時代 金剛峯寺蔵



愛染明王坐像 江戸時代 金剛峯寺蔵



三鉞杵 平安時代 金剛峯寺蔵

1200年の時空を超えて弘法大師の道、発見! 空海を育てた「吉野から高野山への道」



宝珠形舍利容器 江戸時代 金剛峯寺蔵



不動明王二童子像 室町時代 金剛峯寺蔵

◆会期：2015.8.8(土) - 23(日) ◆会場：そごう徳島店6階=大催事場

開場：午前10時～午後7時30分 ※最終日は午後5時閉場(ご入場は閉場の30分前まで)

前売券販売・お問い合わせ ▶ 徳島新聞社地域振興部 電話：088-655-7331 または、徳島新聞各販売店 まで

- 主催／徳島新聞社、そごう徳島店、高野山真言宗総本山金剛峯寺、公益財団法人高野山文化財保存会、共同通信社 ●協賛／徳島県
- 後援／徳島市、四国放送、エフエム徳島 ●協力／大塚オーミ陶業、九州国立博物館、奈良県、ハヤミ工業、南海電気鉄道

同時開催

四国八十八ヶ所霊場各札所寺院すべてのお砂を集めました!
四国八十八ヶ所霊場の旅
「お遍路さん一日体験!」

※混雑時には、お待ちいただく場合がございます。



ご入場の際、お渡しする納め札(88枚綴り)を各霊場に納めながらお遍路さんを体験いただけます。またご体験いただいた方には「結願の証」(写真)をお渡します。
高野山 東京別院 四国八十八ヶ所お砂踏みの様子



入場料
400円(前売り300円)
※ミレニアムカードをお持ちのお客様、徳島新聞女性クラブ、徳島新聞カルチャーセンター会員様はカードご提示でご本人さまに限り前売り料金でご入場いただけます。